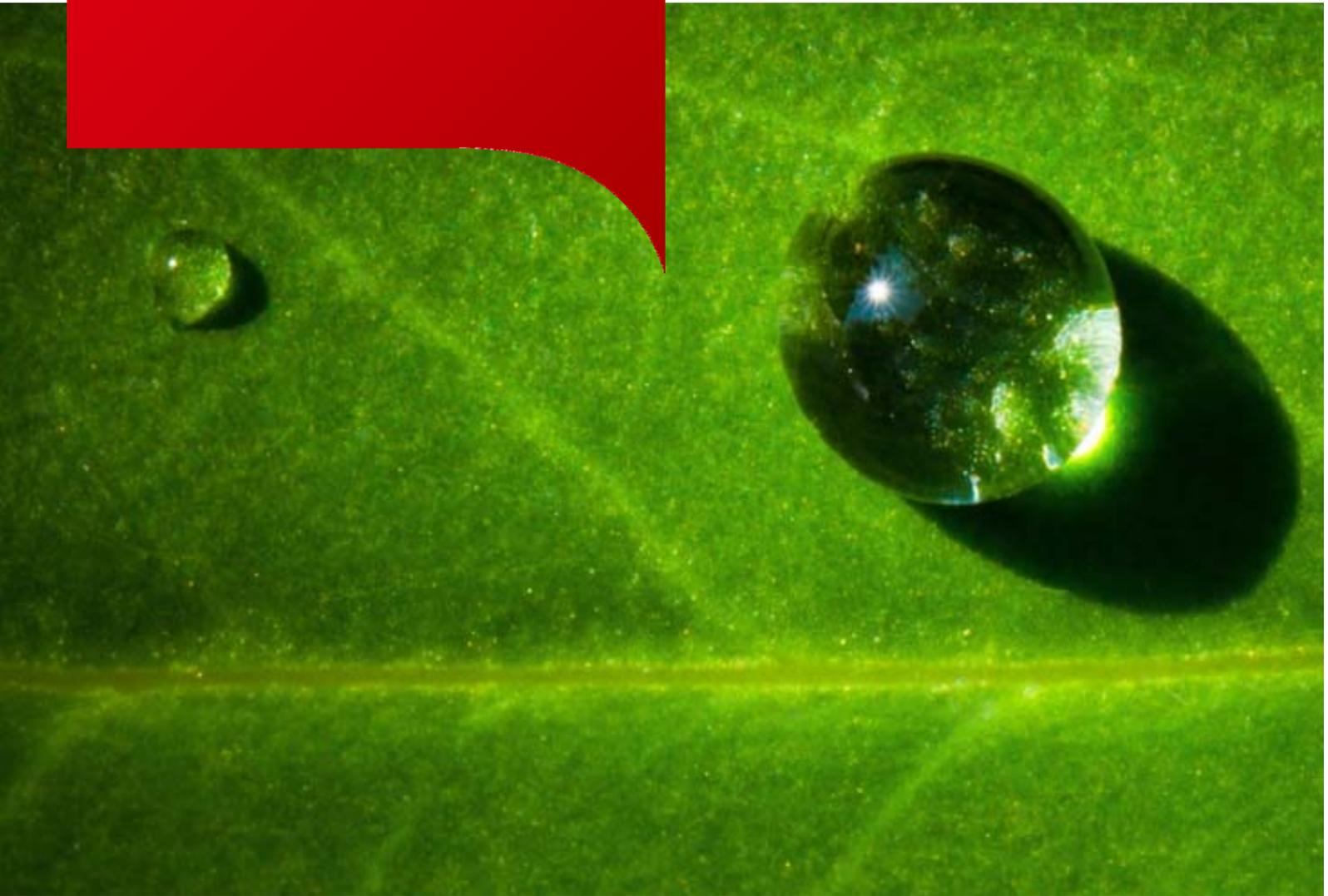




会津富士通  
セミコンダクター  
グループ  
環境報告書2017



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

## ■ 目次

■	トップメッセージ	2
■	事業内容と環境経営	3
■	環境方針と会津富士通セミコンダクターグループ重点項目	4
■	会津富士通セミコンダクターグループ 環境活動	5
●	2016年度 環境目標と実績	5
●	2016年度 環境負荷データ	5
●	地球温暖化対策	6
●	水資源有効利用	7
●	化学物質排出量・廃棄物発生量の抑制	7
●	環境教育・環境リスクの低減	8
●	社会貢献活動	9

---

■ 会津富士通セミコンダクターグループ環境報告書2017は、富士通グループの半導体事業を担う会津富士通セミコンダクターグループの環境的側面に関する考え方・取り組み内容・成果などを報告するものです。

■ 報告期間は、2016年度(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の活動内容を記載しています。ただし、一部には2016年4月1日以前の活動内容などが含まれていません。

■ 報告対象組織は、会津富士通セミコンダクターグループ国内拠点のみを対象としています。

### 高品質と安定した製造能力を提供する。これが私たちの基本です。



半導体は現在の世の中には欠かすことのできない重要な基幹部品としてあらゆる「もの」の中に入って日夜動作し続けており、社会の土台を成すものと言っても過言ではありません。そのような半導体製造は、非常に高度な技術とともに、大量のエネルギーと数多くの化学物質を必要としており、環境に対する負荷が非常に大きな産業であります。

我々が今後も永続的に世の中に半導体を供給し続けるためには、如何に環境負荷を低減しながら成長を続けるかということが重要であり、社会的にも大きな責任を伴っているということを、我々自身が常に意識していなければならないと考えております。

今後も、環境に配慮しながら地域との調和を図り、自然豊かな会津の地と共に発展していくことを目指します。

会津富士通セミコンダクター株式会社  
代表取締役社長  
会津富士通セミコンダクター  
ウェハースソリューション株式会社  
代表取締役社長  
清水 敦男

### 環境にやさしいウェハーフアウンドリ会社を目指します。



2016年度は、富士通グループ第8期環境行動計画の初年度でした。この行動計画をベースに、私たちは2018年度までの3年間、事業活動を通じ様々な環境活動に取り組んでいきます。

この行動計画に基づき私たちはこれからも化学物質や廃棄物の削減、水の有効利用、そして温室効果ガス(エネルギー消費CO<sub>2</sub>、PFCs)は、総量に加え原単位(1枚のウェハを製造するためのエネルギーや材料)の削減にも着目し高い競争力のある「グリーンファクトリー」を実現することを目指していきます。

会津富士通セミコンダクター  
マニュファクチャリング株式会社  
代表取締役社長  
(会津富士通セミコンダクターグループ  
環境担当役員)

堀 仁

## 会津富士通セミコンダクターグループ概要

会津富士通セミコンダクターグループは、1967年に会津若松市一箕町に富士通が最初の半導体量産工場を開設して以来、50年に渡る半導体製造の歴史を引き継ぎ、会津富士通セミコンダクター、会津富士通セミコンダクターウェハーソリューション、そして会津富士通セミコンダクターマニュファクチャリングの3社体制のファウンドリ会社として事業展開しています。また、事業活動での環境負荷低減に取り組み低炭素で豊かな未来を実現する環境経営を推進します。

- 本社 会津富士通セミコンダクター株式会社
- 所在地 福島県会津若松市門田町工業団地4番
- 代表者 代表取締役社長 清水 敦男
- 設立 2014年12月1日
- 事業内容 ウェハーファウンドリサービス



## ISO14001認証

会津富士通セミコンダクターグループは、富士通グループの一員として環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格であるISO14001の認証を取得しています。詳しい内容は富士通セミコンダクターグループサイトをご覧ください。

<http://www.fujitsu.com/jp/group/fsl/about/environment/>

- 審査機関 JACO/DNV
- 明示登録証番号 EC98J2005
- 登録日 1995年9月12日
- 更新日 2015年3月23日
- 期限 2018年3月22日

### ■ISO14001認証取得状況

会津富士通セミコンダクターグループ		認証範囲
会津富士通セミコンダクター株式会社 会津若松市門田町工業団地4番地	(AFSL)	製造 (統括)
会津富士通セミコンダクターウェハーソリューション株式会社 会津若松市門田町工業団地4番地6	(AFSW)	製造
会津富士通セミコンダクターマニュファクチャリング株式会社 会津若松市門田町工業団地6番地	(AFSM)	製造

# 環境方針と会津富士通セミコンダクターグループ重点項目

会津富士通セミコンダクターグループは、富士通セミコンダクターグループ環境方針のもと、環境マネジメントを推進しています。

## 富士通セミコンダクターグループ環境方針

私たちは、先進の技術で環境性能に優れた半導体デバイスを提供し、お客様とともに豊かな地球環境の保護に貢献します。

### ■ 行動指針

私たちは、以下の指針により開発／調達／生産／販売／使用／廃棄にいたるすべてのライフサイクルで、環境負荷の低減と地球環境汚染の予防に努めます。

1. 環境性能に優れた製品開発を推進します
2. 製品や梱包材等における含有化学物質の適正管理を推進します
3. 地球温暖化対策、水や資源の有効利用対策及び廃棄物の適正管理を推進します
4. 地球環境汚染の予防のため、化学物質の適正管理を推進します
5. グローバルな視点で環境関連法規制およびお客様とのお約束を順守します
6. 環境社会貢献活動や生物多様性保全を推進します
7. 環境マネジメントシステムを有効かつ継続的に改善し、環境パフォーマンス向上に努めます

## 会津富士通セミコンダクターグループ重点項目

会津富士通セミコンダクターグループは、富士通セミコンダクターグループ環境方針に沿って以下の重点項目に取り組んでいます。

- 温室効果ガス(CO<sub>2</sub>, PFCs[<sup>1</sup>フルオロカーボン])の排出量削減
- 化学物質(PRTR<sup>2</sup> VOC<sup>3</sup>)の管理強化
- 廃棄物の発生量削減と再資源化推進
- 水資源の有効利用推進

### ■ 環境マネジメント活動

富士通グループ「Green Policy 21」「Green Policy 2020」「環境行動計画」に基づき達成すべき数値目標を明確にした「会津富士通セミコンダクターグループ環境目的・目標」を策定し、計画的かつ継続的改善のもと、環境マネジメント活動を推進しています。

### ■ 環境法令の順守

環境監視における自主基準値設定、四半期毎の順守確認及び工事実施時の法令アセスメント等により、順守評価を実施しています。

### ■ 環境監査

毎年内部環境監査を実施すると同時に、有効な監査を行うために、内部環境監査員の力量向上を図る教育を実施するなど、環境監査の強化に努めています。JACO(株式会社日本環境認証機構)による外部審査を受査し、ISO14001の認証取得を継続しています。

\*1 PFCs : Perfluoro compounds

\*2 PRTR : Pollutant Release and Transfer Register [化学物質排出移動量届出対象物質]

\*3 VOC : Volatile Organic Compounds [揮発性有機化合物]

2016年度 環境目標と活動実績

会津富士通セミコンダクターグループでは、ウェハーフアウンドリ事業活動に伴うエネルギー・化学物質等の資源の消費抑制に継続して取組み、低炭素で豊かな未来を実現するため、お客様や社会の環境負荷低減に取り組んでいます。

■ 2016年度活動結果

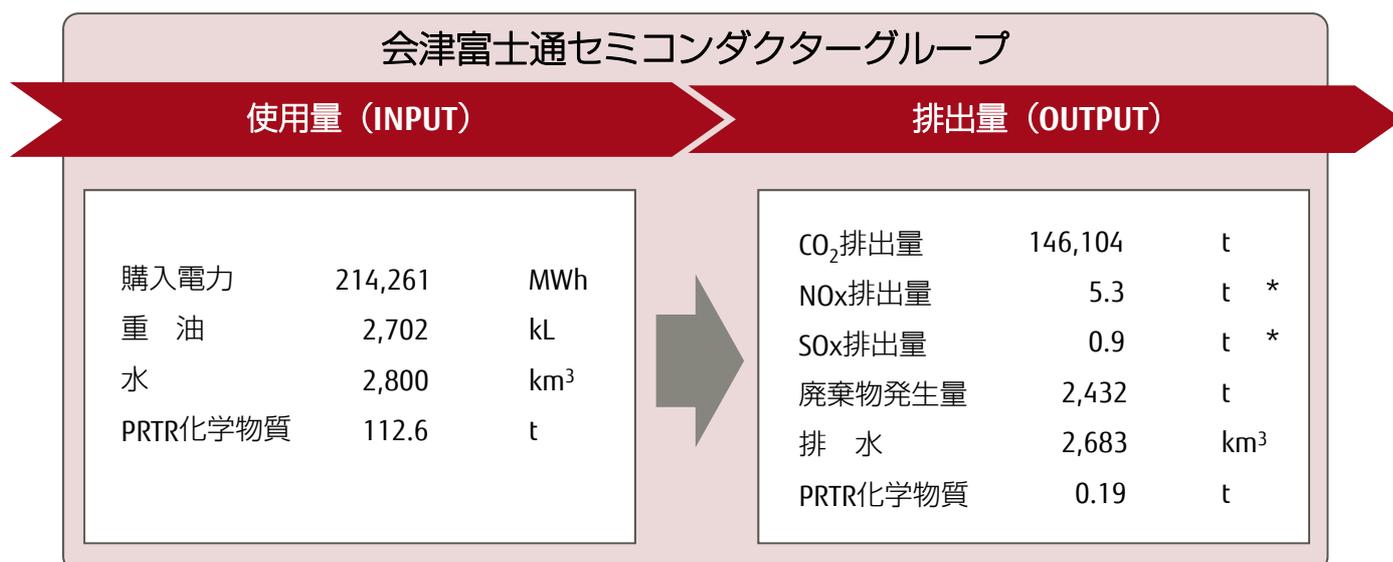
温室効果ガス(GHG\*)排出量の削減、化学物質及び廃棄物発生量の抑制、水資源の有効活用など環境行動計画に基づく活動目標を全て達成しました。

\*GHG : Greenhouse Gas

○ 目標達成

大項目	項目		2016年度目標	2016年度結果
自らの事業活動	温室効果ガス(GHG)排出量の削減	①	エネルギー消費CO <sub>2</sub> 排出量を169,703t-CO <sub>2</sub> 以下にする	○ 146,104t-CO <sub>2</sub>
		②	PFCs排出量を105,490t-GWP以下にする	○ 74,812t-GWP
	水資源の有効利用	③	水資源有効利用施策を1件以上実施する	○ 1件
	化学物質排出量の抑制	④	VOC排出量を7,647kg以下にする	○ 1,855kg
	廃棄物排出量の抑制	⑤	廃棄物排出量を2,848t以下にする	○ 1,665t

2016年度 環境負荷データ



\* NOx, SOx の排出については、ボイラーからの燃焼排気ガスです。

NOx : Nitrogen oxide 窒素酸化物

SOx : Sulfur oxide 硫黄酸化物

地球温暖化対策

■ エネルギー消費CO<sub>2</sub>排出量削減

- 工場での省エネ施策

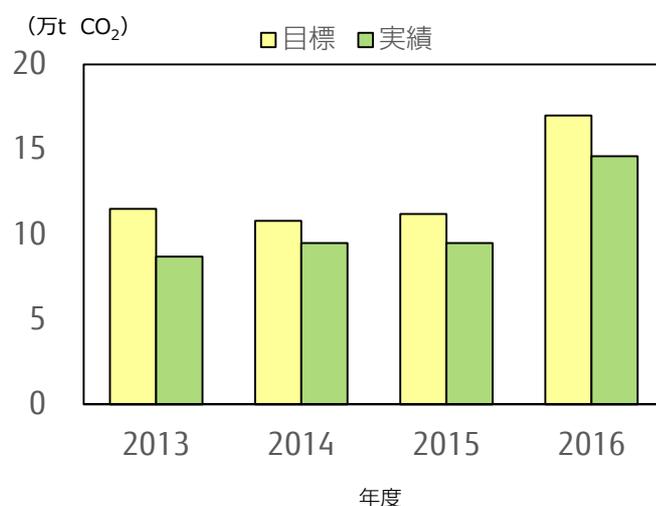
2011年3月の東日本大震災以降、夏季の節電強化を目的に省エネパトロールを実施し、省エネ施策の洗い出しを行なうと共に、従業員一体で省エネ推進活動を展開しています。

更に、工場内クリーンルームエリアに加え、新たに外灯へのLED照明の導入を展開しエネルギーの削減に取り組んでいます。

- LED照明（外灯）



- エネルギー消費CO<sub>2</sub>排出量



■ PFCs排出量削減(CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス)

製造工程のクリーニングガス等で使用する、温暖化係数の大きいPFCsガスの排出量削減に取り組んでいます。

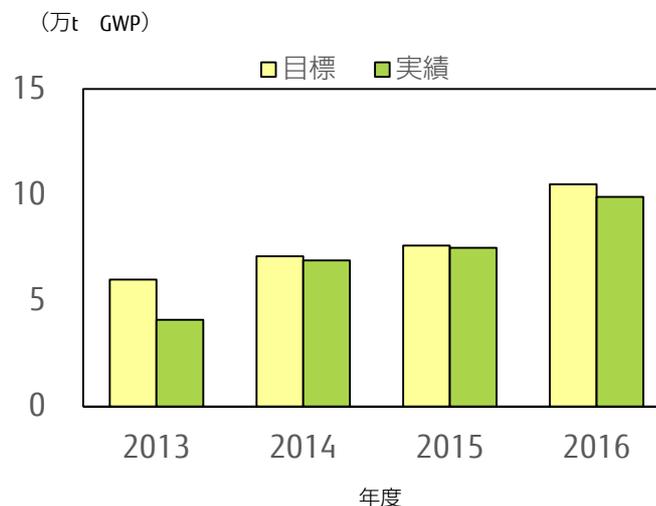
2016年度は工場の生産量の増加に対応し、PFCs除害装置4台を新たに導入し排出量を削減しました。

- PFCs除害装置



〔除害装置〕

- PFCs排出量削減



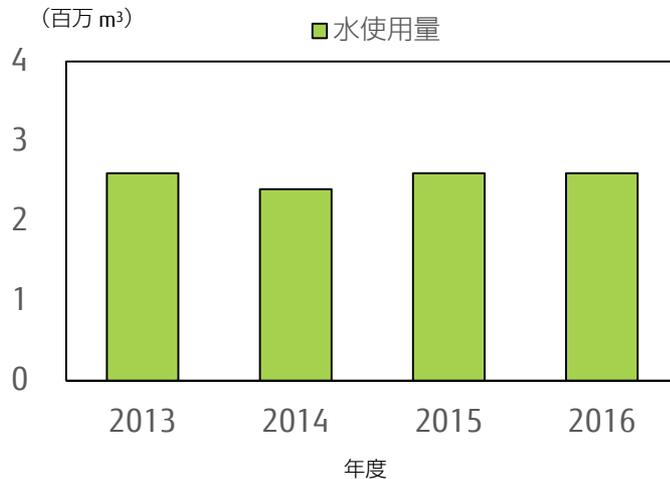
水資源有効利用および化学物質排出量・廃棄物発生量の抑制

■ 水資源の有効利用

2015年度から2016年度は食堂の食器洗浄水の削減に取り組みました。

【削減量】	2014年度	210,000m <sup>3</sup> /年
	2015年度	240m <sup>3</sup> /年
	2016年度	400m <sup>3</sup> /年

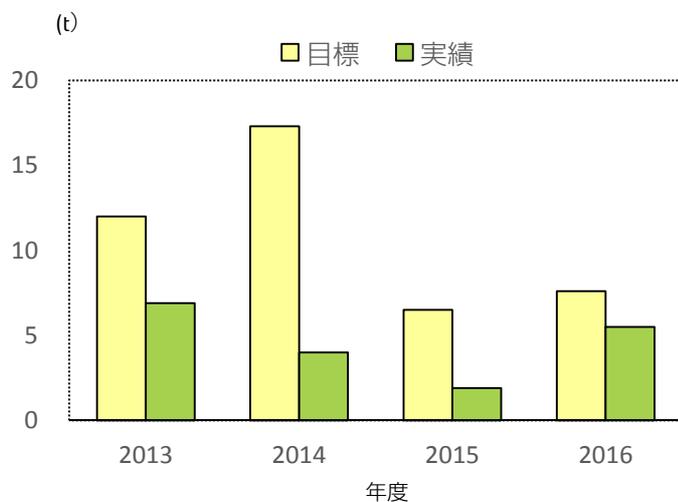
● 水使用量



■ 化学物質排出量の抑制

2013年度から排ガスに含まれるVOCの排出抑制に取り組んでいます。また、VOCは有機排ガス処理設備にて適正に回収処理を対応しています。

● VOC排出量

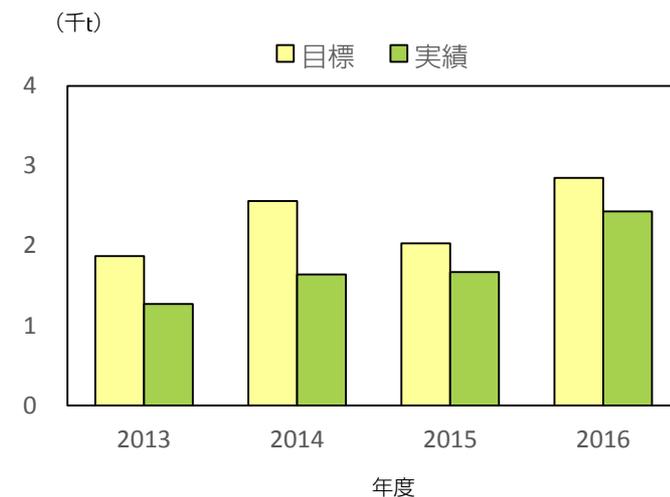


■ 廃棄物発生量の抑制

2016年度は生産量の増加に対応し、廃アルカリの有償化量の拡大や廃硫酸の社内利用を拡大し産業廃棄物の発生量を削減しました。

今後も3R(リデュース、リユース、リサイクル)を積極的に推進します。

● 廃棄物発生量



## 環境教育・環境リスクの低減

### ■ 環境教育

富士通グループでは、3年ごとに策定する環境行動計画の内容を社員に浸透させるために、1995年からグループ会社社員を対象とした環境教育を実施しています。これに加えて、会津富士通セミコンダクターグループでは、社員の更なる環境意識向上を目的に、独自に半導体工場特有の環境教育を実施しています。

地球温暖化  
廃棄物  
水資源有効利用  
生物多様性など



### ■ 環境リスクの低減

#### 全窒素計の導入による工場排水の監視強化

2016年度は全窒素計を導入し、工場排水中に排出される化学物質濃度の監視を強化しました。



### 環境監視

各環境法および条例に準拠した放流水や地下水等の環境分析を定期的実施しています。



< 環境測定（騒音測定） >

## 社会貢献活動

毎年、工場周辺の清掃活動や緑化活動など、地域に密着した取り組みを実施しています。地域社会との関わりを大切に、さまざまな活動に取り組んでいます。

- 清掃ボランティア活動

毎年5月に工場周辺および近隣公園の清掃活動を実施しています。更に、9月にクリーンふくしま一斉活動としてJR西若松駅周辺の清掃活動にも参加しています。



クリーンふくしま

- ラベンダーによる緑化活動

工場周辺の緑地にラベンダー約1,000株を植栽し、工業団地の緑化に寄与しています。毎年7月には近隣の企業・福祉団体の皆さまとラベンダーの花穂摘みを行っており、乾燥させた花穂は消臭剤や芳香剤として活用いただいています。



ラベンダーの緑化活動

- 地域イベントへの参加

毎年秋に開催される会津若松市環境フェスタへ出展し、環境活動の紹介、環境クイズ、エコ工作等を実施しています。



会津若松市環境フェスタ

## 会津富士通セミコンダクターグループ株式会社



発行 : 2017年11月  
発行責任者 : 代表取締役社長 清水 敦男  
編集責任者 : 会津富士通セミコンダクターマニュファクチャリング株式会社 EHS推進部 的場 亨  
発行部門 : 会津富士通セミコンダクター株式会社 総務部  
ガイドライン : 環境省「環境報告ガイドライン2012年版」

報告URL : <http://www.fujitsu.com/jp/group/afsl/about/environment/>